

G2-4700S

クロマクリヤー

製品概要

ハイパーキュア技術をベースにした速乾性の2K クリヤーです。
エネルギーコストを削減し生産性向上が可能な常温乾燥・強制乾燥速硬化型クリヤーです。
通常のクリヤーに比べ強制乾燥時間を大幅に短縮する事が可能です。
組成:アクリル樹脂

製品構成

G2-4700S	クロマクリヤー
G2-4507S	アクティベーター(低温-標準)
G2-4508S	アクティベーター(高温)
G2-4509S	アクティベーター(遅乾)
JAB380	ベースコートシンナー(標準)
JAB385	ベースコートシンナー(遅乾)
JXB387	ベースコートシンナー(超遅乾)
JXB390	ベリースローシンナー

製品特性

- 短い乾燥時間
- 通常のクリヤーコート工程には 60°CX30 分の強制乾燥が含まれますが、G2-4700S は 20°CX1.5 時間で済みます。ダストフリーを急ぐなら、ブースで 50°CX10 分の乾燥が可能。
- 短い乾燥時間が結果としてエネルギーコストの節約に大きく貢献。
- スポット補修、マルチパネル補修に使用可能。

塗装対象素材

- クロマックスベースコート
 - きれいにサンディングされた新車塗膜
 - 完全硬化した補修塗膜
- ※熱可塑性塗膜の上には推奨しません。

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

G2-4700S

クロマクリヤー

製品の使用について							
混合比	製品名	低温-標準		高温		遅乾	
		容量比	重量比	容量比	重量比	容量比	重量比
	G2-4700S	3	100	3	100	3	100
	G2-4507S	1	37	-	-	-	-
	G2-4508S	-	-	1	37	-	-
	G2-4509S	-	-	-	-	1	37
	JAB380/JAB385	1	30	-	-	-	-
	JXB387/JXB390	-	-	1	30	1	30
VOC	503g/L						
ホットライフ (20°C)	1-2 時間						
スプレー粘度 (20°C)	Zahn#2	15-17 秒					
スプレーガン * 1ハール=1Kg/cm ²	通常ガン 重力式 吸上式	口径		距離		エア-圧	
		1.3-1.6 mm	1.4-1.8 mm	20-30 cm	20-30 cm	2.5-3.0 ハール 2.5-3.0 ハール	
	HVLP/HTE ガン 重力式	1.3-1.4 mm		10-15 cm		ガンメーカーの指示 に従う。	
塗装回数	2						
フラッシュタイム	コート間: 7-10 分 強制乾燥前: 0 分						
DFT(乾燥膜厚)	50-60 μ						
乾燥時間	ダストフリー 取扱い可能 ホリッシュ可能	20°C			50°C × 10 分		
		15-20 分	1.5-2.5 時間	1.5-2.5 時間	*最適時間	1.5-2.5 時間	即 30 分-1 時間 30 分-1 時間 *最適時間 45 分-1 時間
IR 乾燥*	基本的に推奨しません。 必要な場合は 50°C 以下に保ってください。						

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用するにはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

G2-4700S

クロマクリヤー

推奨使用方法

塗膜の表面処理

1. 石鹼と水で表面を洗浄し、すすいで乾かす。
2. クロマックスクリーニング剤(3919S)で洗浄し、清浄なクロスで拭いて乾かす。
3. 損傷の程度に合わせ適切に処理をする。
4. クロマックスクリーニング剤(3812S/3920S)で洗浄し、清浄なクロスで拭いて乾かす。
5. 珪クロスをかける。
6. 必要な場合、クロマックスベースコートを塗布する。

クリヤーコートの塗装

ベースコートの艶が完全に引いた後、G2-4700Sを2コートする。コート間フラッシュタイム7-10分。

機器の洗浄

ラッカーシンナーで洗浄する。

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

G2-4700S

クロマクリヤー

推奨使用方法(続き)

重ね塗り適合性

30°Cで1時間、20°Cで2時間後に塗装可能。強制乾燥した場合には1時間後。
24時間以上経過後は足付け研磨必要。(P1200-P1500)

注意事項

- ホットライフを過ぎた G2-4700S は使用出来ません。また更に希釈して粘度を落としても使用出来ません。
- 50°C以上の温度で強制乾燥した場合に艶引けが起きることがあります。
- IRヒーターを使用した場合、ホッピングが発生する可能性があります。
- 硬化剤使用後は直ちに蓋を閉めて下さい。空気中の湿気や水分と反応し、硬化不良の原因になります。
- 硬化剤入りのクラーは元の缶に戻さないで下さい。
- 指の跡が若干付く状態でも、自然乾燥(20°C)1.5-2時間でホリッシングが行えます。
- 艶消し塗装は AU175 フラットニングバインダーの TDS を参照して下さい。
- クラーは使用前に室温(18-25°C)で保管して下さい。

製品データ

塗布面積(理論値) 8 m²/L (推奨膜厚 - 希釈済み塗料)

安全

使用前に SDS を参照し、製品容器に表示されている指示に従って下さい。

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

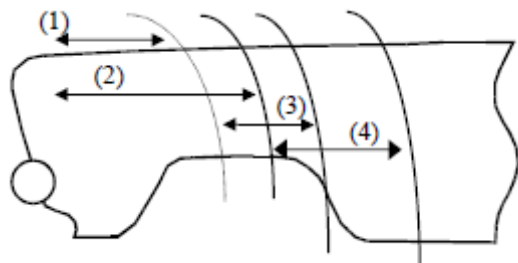
G2-4700S

クロマクリヤー

補修要領

スポット補修 : AK350 使用

- ① 1コート目 : ベースコートより広い範囲に G2-4700S を1コート塗布する。
 - ② 2コート目 : 更に広い範囲に G2-4700S を塗布する。
 - ③ オプション 配合済み G2-4700S と AK350 を 1:1 で混合し、ホガシ部分に1コート塗布する。
 - ④ すぐにホガシ部分に AK350 だけを塗布してなじませる。
- ! ベースコート塗布前に、表面は注意深く、正しく処理されていること。
推奨使用方法の塗膜の表面処理を参照。
- ! AK350 の塗布は処理された範囲内にとどめること。



必要であれば、50°C × 10 分乾燥後あるいは常温乾燥(20°C) 1.5-2.5 時間 後、ファレクコンパウンド[®]等でハフ掛けし光沢を調整する。

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用するにはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」